







お花の栽培シリーズ「ストケシア」

2011年8月	葉月(はづき)・桂月(けいげつ)・壮月(そうげつ)・仲秋(ちゅうしゅう)・雁来(がんらい)・秋風月(あきかぜつき)	● 炎天がつづく時期
<p>●日本の夏は、熱帯並みの暑さになり、しかも日照時間が長くなるので夜まで暑さが残ります。これが「熱帯夜」で、寝苦しい日が続きます。</p> <p>●強い直射日光、高い気温、それにとまなう水分の不足、そのうえ舗装面や壁面の照り返し・・・など植物にとっても酷な時期です。</p>		
庭木の作業	<p>・高温乾燥期にはいるので、植え替えや手入れは行いません。中下旬になると再び害虫の発生が始まるので早めに防除します。</p>	
草花の作業	<p>・草取りと乾燥したときの「水やり」が仕事です。</p> <p>・ダリア・サルビア・マリーゴールドなどは、秋の花を立派に咲かせるためには、8月初め頃に株を切り込んで新芽を出させ、追肥をします。</p>	

今月の誕生花	アサガオ	
今月の花	花言葉/はかない恋・仮装・偉大なる友情・固い約束・愛されたい	
	<p>アサガオはヒルガオ科の1年つる草。原産地はアジア。季節は7～8月。花の色は、青、赤、藍、紫など。夏の早朝、葉の付け根にラツパ型の花を咲かせ、昼にはしぼんでしまう花。奈良時代末から平安時代初期に中国から伝わったとされ、当時は観賞用としてではなく、薬用植物として栽培されていました。</p> <p>属名のファルビティスは、ギリシア語の「pharbe(色)」の意で、色彩の美しい花をつけるものが多いことからついたといわれます。</p> <p>アサガオは半日花。そのため、英名は「morning glory(モーニング・グローリー)」です。</p>	

お花の栽培シリーズ

今月の花 ストケシア

<p>日当たり</p>  <p>日なた</p>	<p>水やり</p>  <p>乾燥ぎみ</p>	<p>気温</p>  <p>15～25℃</p>	<p>草丈</p>  <p>40～50cm</p>	<p>花色</p> 
--	--	---	--	--

北アメリカ原産の耐寒性多年草。日本でも大正時代から園芸用品種・ルリギクとして親しまれています。細かく切れ込んだ花びらが涼しげで、色は赤、桃、白などがありますがもっとも好まれているのが藤紫色。花期が長く、梅雨の時期から秋まで夏の花壇を華やかに演出してくれます。また、花もちがよいため、切り花にも向いています。春か秋に 苗を買って植えます。植えつけは水はけのよい場所に、株と株との間隔を30cm以上と多めにします。よく繁殖するため3年に1回株を掘り上げて、株分けをしてふやすことができます。かなりの乾燥に耐える丈夫な性質。過湿にならないよう乾燥気味に育てます。ですが、乾燥させすぎると葉が枯れて落ちてしまうので注意しましょう。



● 植えつけのやり方

【露地植え】





【鉢植え】



● 株分けのやり方



●年間スケジュール

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
状況	花期 											
場所	屋外の日当たりのよい場所											
水やり	表土が乾いて1~2日たったら与える (4~5日1回)					表土が乾いたら与える (1~2日1回)					4~5日1回	
肥料	元肥 ⊕						元肥 ⊕					
天気												
作業	植え替え/株分け  (3年に1回)						植えつけ 